



企画展 「スウィングする鉄筋彫刻」 始まる！



5月2日（水）より今年度の企画展第一弾「スウィングする鉄筋彫刻」が始まりました。鉄筋を使った線による彫刻で、楽器を演奏したり歌を歌っている人物を表現しています。演奏している楽器はピアノ、ギター、トランペット、サックス、ベース、フルート、ヴァイオリン、チェロ、それに男女のヴォーカリスト。白い部屋に彫刻そのものと、壁に映った陰の、黒い線がかもし出す表情は、なかなかシックです。会場にはジャズが流れ、ちょっとオシャレな気分になります。

作品の製作者は鳥取県鳥取市で制作活動されている徳持耕一郎（とくもちこういちろう）さん。徳持さんは、浮世絵への興味から版画を学ばれ10年間木版画を制作されました。89年にニューヨークで個展を開かれた時に、毎晩ジャズクラブに通い、ジャズに魅了されたそうです。ライブを聴きながら、ナプキンにスケッチ、そのスケッチした線を数種類の太さの鉄筋

に置き換えて、鉄の線による3次元的彫刻を作られるとのことでした。

展示されている作品は、等身大の作品が5点、70センチ前後の作品が21点、それに版画11点、その他1点の計38点。中にはミッキーとミニーがピアノを弾いている愛らしい作品も。

この展覧会は、京都の喫茶店で開かれていた徳持さんの個展を観た嶋館長が「これは楽器博物館でもぜひ」ということで徳持さんに相談したところ「喜んで」ということで実現しました。

5月2～5日と最終日の20日は、徳持さんも展示室におられて入館者と対話を楽しまれます。オープン初日にはさっそく多くのお客様が訪れられ、徳持さんと楽しそうに会話をされていました。

音楽と楽器と彫刻のアート作品が生み出す素敵な音楽空間を、是非味わいに起こしてください。

神がいる 祈りにであう アートにふれる 楽器博物館の魅力

嶋和彦（楽器博物館館長）

浜松市楽器博物館は 95 年の 4 月に開館してもう 17 年が過ぎました。今では全国に知る人も多く、浜松の名所になってきたようです。

この博物館は、全世界の楽器を対象とする大規模な楽器博物館としては、世界で最も新しい博物館でした。現在は、2 年ほど前にアメリカのテキサス州フェニックスにできた私立の楽器博物館があり、それが最新のものです。

浜松とフェニックスの楽器博物館には大きな共通点があります。それは、楽器や音楽を文化としてとらえ、「ヨーロッパの楽器や音楽は芸術でそのほかの地域は民族芸能・民俗芸能」と見なすような旧式のヨーロッパ的考え方を採用していないということです。つまり、文化相対主義で、「どの国、どの時代の楽器や音楽も、それぞれに価値を持つのであって優劣の問題ではない」という立場です。この考えに則った楽器博物館は浜松が世界初で、その次がフェニックスでした。

浜松市楽器博物館は、現在は収蔵楽器数 3200 点、展示楽器数 1300 点、ヨーロッパ、アジア、アフリカ、アメリカ、オセアニア、日本という大きな地域と、ヨーロッパの鍵盤楽器、電子楽器、日本製西洋楽器という 9 のカテゴリーに分けて展示していますが、オープン当初は収蔵数 750 点、展示数 650 点、それもヨーロッパの楽器 450 点と日本の楽器 200 点のみという不完全・未完成の状態で出発しました。つまりオープンしてから、その他の地域の楽器を収集してきたわけです。そして大規模な収集がとりあえず一段落した後、2006 年 3 月に展示をリニューアルして、当初の計画通り、世界中の楽器が偏り無く平等に展示されることになったわけです。



虎のデザインが可愛い韓国の伝統楽器“オ”



ミャンマーの吉祥の動物“ピンサツ・ユーパ”

この状態でようやく実現したこと、それは、音楽愛好家だけでなく、民族芸術やアート、芸術学や宗教学などに興味関心のある方にも、存分に楽しんでいただけるようになったことでしょう。

たとえばジャワ島のガムランは、その荘厳な青銅打楽器の響きで聴くものを圧倒しますが、聴覚のみならず、視覚的にも大変興味深いものです。ご覧になればわかりますが、楽器の木の枠には、龍のような蛇のような動物が彫刻されています。これは龍蛇（りゅうじゃ）、インドではナーガ、ジャワではナガとかノゴと呼ばれるものですが、元来はインドス文明以来のインドの蛇神で、東南アジアに伝わって土着の神と結びつき、宇宙の最下層を支える神となりました。ジャワでは王に精神的助言を与える存在なのだそうです。



ゴングの枠に彫られたナーガ

そんな神が楽器と一体化しているということは、つまり楽器そのものも神的存在であるわけです。事実ガムランの大きなゴングには、人は必ずお供えをします。楽器は単なる娯楽音楽の道具ではなく、深い精神世界を支える重要な存在、祈るべき対象なのです。そしてその姿形は立派なアート作品でもあります。このような楽器の例はほかにもたくさんあります。楽器博物館はそのような、聖なる神であり、祈りの対象であり、意匠を愉しむアートでもある楽器に出会える場所なのです。

楽器が弾けるとか楽譜が読めるとか音痴であるとかは関係ありません。訪れた方はきっと、なんと世界にはすばらしい楽器がたくさん存在するのだろうと感動し、その奥に広がる深くて多様な人間の文化の世界、精神の世界に想いを馳せ、その世界に足を踏み入れるきっかけをつかまれることでしょう。それが楽器博物館の魅力なのです。



モンゴルの馬頭琴

祈りと芸術の空間 “天空ホール” が新しくなりました！



2009年3月に、モダンな鳥の反響版があるステージとしてオープンした天空ホールは、これまでに数十回のコンサートを重ね、楽器博物館の名所となっています。今回、鳥の反響版が2羽加わり、さらにモダンで美しいステージへと成長しました。すでに展示室内の記念写真スポットになっています。

鳥のデザインは数々の受賞に輝くデザイナーの根津孝太さん。音響デザインはサウンドスペースコンポーザーの井出祐昭さん。そのほか多くの技術者が心をひとつにして協力し完成した天空ホール。これからたくさんの素晴らしい音楽や芸術をここからお届けする予定です。

バリ舞踊の日本画が寄贈されました

静岡市清水区在住の日本画家山上雅子さんより、インドネシア・バリ島の舞踊を描いた日本画2点「聖獣バロン」と「BARIS」が寄贈されました。山上さんは元日本画院幹事で現在は静岡県日本画連盟理事、静岡市美術家協会理事の要職に就いておられます。旧清水市文化功労賞のほか、スペイン美術展や日本画院、静岡県芸術祭での受賞も数多く、静岡県を代表する画家です。今回の寄贈は楽器博物館が2008年に実施したバリ島での音楽調査がきっかけとなり実現しました。バリ島のガムランとジェゴグの展示スペースに鮮やかな色彩の絵画が雰囲気盛り上げています。是非ご覧ください。



日時：平成24年3月3日（土）
17:45～18:45（コンサート）、19:00～20:30（祝賀会）
会場：楽器博物館天空ホール（コンサート）、研修交流センター（祝賀会）
出演：中野振一郎、上野美科 入場者：126人（コンサート）、92人（祝賀会）

新東名ネオパーサ浜松SAに 楽器博物館の楽器を展示！



ビルマの竖琴「サウン・ガウ」

4月14日（土）に開通した新東名高速道路三ヶ日～御殿場間。沢山のユニークなSAも話題的ですが、浜松市には音楽をテーマにしたネオパーサ浜松SAが誕生。建物外観やインテリア、テーブルや椅子など随所に音楽をテーマにしたデザインがちりばめられています。また建物内にはミュージックスポットという小部屋があり、上り線はヤマハ、下り線はローランドが展示や音楽を提供しています。この下り線レストランエリアには、ガラスケースの展示コーナーが4つあり、そこには楽器博物館の楽器が展示されていて人気をよんでいます。このSAは一般道から入ることができます。みなさんは是非一度訪れてみてください。



聖獣バロン

BARIS

浜松市楽器博物館友の会 創立10周年記念コンサート＆祝賀会

浜松市楽器博物館友の会が創立10周年を迎えました。これを記念した今回のコンサートでは、中野振一郎さんと上野美科さんをお招きし、当館所蔵のチェンバロ（F.E. ブランシェ2世製作、1765年、パリ）を使用して開催しました。プログラムは全曲デュフリの作で、楽器博物館シリーズCDの新作「デュフリ全集Ⅰ・Ⅱ」にも収められている曲も演奏されました。後半からは上野美科さんのヴァイオリンも加わり、フランス・ロココ文化の優雅な響きが会場に満ちました。

終演後は祝賀会が催され、集まった会員のみなさんは音楽や楽器の話に花を咲かせていました。

笑顔がモットー～皆様をお迎えする楽器博物館スタッフ 10 人です。



名前：嶋和彦（しまかずひこ）/ 館長
出身地：大阪府豊中市
得意楽器：リコーダー
趣味：落語を聞く（特に桂枝雀）、DIY
一言：「原点に戻れ」「初心に帰れ」「温故知新」を座右の銘に、「夢を持って暮らしたい」と思います。



名前：川瀬雄一（かわせゆういち）/ 庶務係長
出身地：静岡県浜松市
得意楽器：演奏するより聞く方が好き。
趣味：飯田線巡り
一言：一人でも多くの人に楽器博物館の魅力を伝えたいです。
撮影場所：事務所



名前：梅田徹（うめだとおる）/ 学芸係長
出身地：静岡県浜松市
得意楽器：ユーフォニアム
趣味：ダム巡り。産業遺産巡り。
一言：博物館に勤めて11年目になりました。今後も初心を忘れずに日々成長していきたいと思ひます。
撮影場所：1 階展示室 リードオルガン前



名前：鈴木潤子（すずきじゅんこ）
出身地：静岡県浜松市
得意楽器：ピアノ（“ふるさと” 1 曲だけ）
趣味：美術館・博物館巡り
一言：自己を過信することなく、脚下照顧の心を忘れずに、明るく楽しく前進あるのみ！
撮影場所：展示室階段



名前：松尾圭子（まつおけいこ）
出身地：静岡県浜松市
得意楽器：フルート
趣味：読書、旅行、落語鑑賞
一言：クラシックの演奏ばかりでしたが、ジャズの勉強も始めました。一生音楽に関わりたいです。
撮影場所：地下展示室 フルート前



名前：岡部美喜（おかべみき）
出身地：静岡県浜松市
得意楽器：ピアノ、浜松祭りラッパ、口琴
趣味：海外ドラマ鑑賞（韓国ドラマ含む）、カラオケ
一言：アジアのガイドツアー！華やかで奥深いアジアの世界をお客様に紹介したいです！
撮影場所：1 階展示室 ジャワ島のガムラン



名前：鈴木千晶（すずきちあき）
出身地：静岡県磐田市
得意楽器：ピアノ
趣味：かわいい雑貨を集める。ハワースポット散策。
一言：お子さんから年配の方まで毎日いろいろなお客様に楽器を紹介できて、うれしく思ひます。
撮影場所：事務所、大好きなマトリョーシキと一緒に



名前：永井千晶（ながいちあき）
出身地：静岡県菊川市
得意楽器：ピアノ、口琴
趣味：ときどき行く水泳。カメラ。
一言：旅行して、おいしい物を食べて、写真を取り、楽しく過ごすのが今年の目標です！
撮影場所：事務所



名前：小山暁子（こやまあきこ）
出身地：静岡県浜松市
得意楽器：ピアノ、ヴァイオリン
趣味：ドライブ☆
一言：どんなことにも全力で常に笑顔（^^）外見も中身も魅力ある女性になりたいです☆
撮影場所：地下展示室 ジラフピアノ前



名前：近藤晴香（こんどうはるか）
出身地：大阪府南河内郡
得意楽器：ピアノ、打楽器
趣味：散歩
一言：今年の4月から働き始めました。たくさんの楽器に触れて知識を得るように頑張りたいです。
撮影場所：地下展示室 チェンバー・オルガン

◆これからの催し物 ホームページでは最新のイベント情報も紹介しています。ぜひご覧ください。

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日数回
チェンバロや 19 世紀のピアノなどのデモンストレーション
- 企画展
写真で見る・世界遺産ガリファの歌と踊り 4/1(日)～6/30(土)
スウィングする鉄筋彫刻～徳持耕一郎作品による～ 5/2(水)～5/20(日)
- レクチャーコンサート
コリアの歌と音と舞・陰陽の織り成す美の世界 5/5(土) 18:30 (天空ホール)
出演：アンソニン、リチャンソプ、パクソニョン、キムオル、キムイルチ
酔いしれて、タンゴ 6/10(日) 14:00 (音楽工房ホール) 出演：チコス・デ・バンバ(4 人編成) 諸行無常 盛者必衰～平家琵琶を聴く・語る～ 6/17(日) 14:00 (音楽工房ホール) 出演：鈴木まどか、古川久美子 フンフルトゥ～南シベリア、トゥバ共和国の驚異の喉歌と楽器たち～ 6/27(水) 19:00 (天空ホール) 出演：フンフルトゥ(トゥバ共和国 4 人編成)、等々力政彦

- イブニングサロン (天空ホール)
最小のアンサンブル～フラウト・トラヴェルソ・デュエット～ 5/30(水) 19:00 出演：有田正広、岩井春菜 弦楽四重奏～ドヴォルザーク “アメリカ” 6/4(月) 19:00 出演：アンサンブル∞無限-(川田知子、山本友重、篠崎友美、山本裕康) 魅せられて、バンドネオン 6/9(土) 18:30 出演：北村聡 ほか 東北のころ～津軽の三味線と唄～ 6/30(土) 18:30 出演：嶋田あやか&タオ
- ミュージアムサロン 14:00 & 15:30 (天空ホール)
5/3(木) フラメンコ&ギター
出演：鈴木尚、大塚友美門下生
5/4(金) ウッド&ベリーダンス
出演：常味祐司、和田啓、miho
5/5(土) 韓国のチャンゴ・コムンゴ・古典舞踊 出演：リチャンソプ、パクソニョン、キムイルチ

浜松市楽器博物館だより
平成 24 年 5 月 3 日発行 No. 69
編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央 3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp
URL http://www.gakkihaku.jp/